



## 「こんにちは 市長です」

5月15日号

外に出ていたら総務省から電話があったと伝言、交付税課長とのこと。内閣府に、コロナの交付金が少ないと文句を言ったから「交付税を増額する？ それはないな」と思いながらも電話をかけた。簡単に要約すると「高齢者のワクチン接種を7月中に終わらせてくれないか」と言う。高齢者への接種終了予定が8月末以降になると県には報告した。それを1カ月前倒ししてほしいというのだ。予定を早めろと言われてもいまだワクチンは1箱も届いていない。「ワクチンはまだ来ていない。接種を早めろといわれても、それは無理。ワクチンの量と配布予定を明確にしてくれないと。接種するお医者さんだって、まだ1回目の接種もしていないんですよ」。課長はワクチン配布を急ぐことを約束し「とにかく、7月中に高齢者の接種を終わってください。6日に返事をしてほしい」と言われて電話は終わった。厚労省からの電話なら分かるが、総務省からとは驚きである。菅総理が「高齢者への接種は7月中に済ませる」と約束した。だから、内閣府から全省庁に声を掛けて早期接種の要望をさせているのではないか。ワクチン接種を終え、オリンピック直後の衆議院解散の準備を急いでいる感じがする。

ワクチンが届き次第、高齢者から接種を始めます。医師会の先生たちをお願いしています。他のまちでは申し込みで混乱したという報道がありますが、太田でははがきの返信で希望したかりつけ医による接種と集団接種を並行して行います。市職員の担当から接種の日程などの連絡をしますのでお待ちください。高齢者以外の方は国からのワクチン配布の日程も決まらず、見通しは立っていません。全国でコロナ感染が拡大傾向にあるというのに…。(4/28記)